

ネットのルール「あみのめせかい」

知らない人とあわない

ネット上だけで知り合った人とは会わないようにしましょう。良い人とは限りません。

有害サイトはみない

架空請求やフィッシング詐欺などの被害にあうこともあります。

個人情報をあせない

自分の個人情報はもちろん、友だちの個人情報もダメです。

めいわくメールを送らない

自分がもらって嫌な気持ちになる内容は送らないようにしましょう。

せキュリティはしっかりと

IDやパスワードは人に教えてはいけません。フィルタリングも設定しましょう。

悪口をかかない

相手を傷つける言葉は、罪に問われることもあります。言葉に気をつけましょう。

いじめない

現実の世界でもネットの世界でもいじめはダメです。

ネットの世界も現実の世界も大切なことは同じです

ひとりで悩まず 早めに相談

相談窓口

高知市少年補導センター

(088) 824-6671

(平日 8:30 - 17:15)

警察相談ダイヤル

＃9110(24時間対応)

高知県警察サイバー犯罪相談窓口

(088) 875-3110

(土日祝日を除く 8:30 - 17:15)

保護者の皆様へ

安全な環境の下でインターネットを利用するためには、インターネットに接続する時間や場所、ゲームやアプリの制限など、各家庭での「ルール作り」が必要です。家庭でのルールを作る際は、必ず親子間でよく話し合いをしましょう。ルールを守るということは、自分を守ることに繋がります。インターネットやSNSと、ほどよい距離をとって利用していくようにしましょう。

ゲーム・スマートフォンの家庭でのルール(例)

- 利用時間は1日1時間 宿題が終わった後で
- 課金は、毎回親に確認する
- 人が嫌がることを書き込まない
- ルールを破ったら、ゲーム機・スマートフォンを1度親に返して話し合う

ゲーム・スマートフォンの

安心・安全



情報モラル教育推進キャラクター
「情モくん」

高知市少年補導センター

事例1 ネット上で知り合った人と会わない



- 女の子だと言っていた人が、実は成人の男性だった。ウソの情報を信じてしまった。
- 親に相談しなかった。

解説！！



SNSやオンラインゲーム上で知り合い、話をしているうちに「同じ趣味や話が合う人に悪い人はいない」と考え、会ってみたいと思う子どもたちが増えています。しかし、相手が本当のことを言っているとは限りません。話を合わせて信用

させ、実際に会って事件やトラブルに巻き込まれるケースがたくさんあります。「個別のチャットで話そう」「一緒に遊ぼう」「会おう」等としつこく言ってくるようなら、大人に相談するようにしましょう。

事例2 個人情報を載せない



- 顔写真を載せていた。
- 他の人が、投稿者を特定できることを書き込んだ。
- 写真から、位置情報がわかった。

解説！！



ネットに個人情報を載せるのは、危険なことはもちろん、悪用される場合もあります。また、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した写真データには、カメラの設定や撮影日時、GPS情報（位置情報）などを記録したExif（イグジフ）と呼ばれる情報が記録されています。もし、Exifの情報が付加されたままで、写真を公開すると、閲覧者は撮影場所がどこであるのかを知ることが可能です。写真や動画を投稿する際には、背景に写っているものも含めて、内容をしっかりと確認するようにしましょう。

事例3 いじめはしない



- 書き込んだ内容に相手が嫌がる内容を書き込んでいた。
- 言葉だけなので、誤解されてしまった。

解説！！



文字でコミュニケーションをとることが多いインターネットの世界では、ちょっとした言葉遣いが誤解を生んで、トラブルやいじめに発展するケースがあります。文字だけで気持ちを伝えるのは非常に難しいです。たとえ絵文字などを使っても、受け取り方は人それぞれ違います。相手のことをよく考えて発言すること、また、大切なことは会って話すようにすることが大事です。